



技術評価書

申込者：株式会社伊藤製鐵所 代表取締役社長 伊藤 壽健
東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 5 階

技術名称： オニプレート定着工法 FRIP 定着工法 RC 構造設計指針(2022 年)

技術概要： オニプレート定着工法はオニプレート、FRIP 定着工法は FRIP 定着板を用いた機械式定着工法であり、両工法設計指針は、GBRC 性能証明 第 02-07 号 改 7、第 02-19 号 改 5(2010 年 12 月 10 日)、SABTEC 技術評価 12-03、12-04(2012 年 7 月 26 日)を取得している。

SABTEC 技術評価 12-03R1(2013 年 11 月 27 日)は、高強度 RC 柱梁接合部編および柱主筋外定着方式編を適用範囲に追加した設計指針(2013 年)の妥当性について、SABTEC 技術評価 12-03R2(2014 年 7 月 21 日)は、RC 構造を適用対象とした「RC 構造設計指針(2017 年)」について、SABTEC 技術評価 12-03R3(2019 年 9 月 25 日)は、2017 年以降の使用実績を踏まえて改定した「RC 構造設計指針(2019 年)」について行われている。また、SABTEC 技術評価 12-03R4(2022 年 2 月 21 日)は、アスペクト比 ≥ 1.3 の T 形接合部のせん断設計などの規定を追加した「RC 構造設計指針(2022 年)」について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2022 年 2 月 21 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏 行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。

オニプレート定着工法 FRIP 定着工法 RC 構造 設計指針(2022 年)

この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、オニプレート定着工法標準施工要領書、FRIP 定着板摩擦圧接要領書および専門部会資料が提出されている。

評価内容： 申込者提案のオニプレートおよび FRIP 定着板は、それぞれ鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるオニプレートおよび FRIP 定着板を用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。